

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年11月6日
野村不動産ホールディングス株式会社
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

住まい

街づくり(複合開発)

サステナビリティ

包括連携協定締結により相模原市と協力し、地域の活性化へ
相模大野エリアにおける「地域共創型」街づくり 始動
～公園へのカフェ設置やエリアマネジメント運営組織によるイベントも実施予定～

本プレスリリースのポイント

1. 相模原市と、相模大野含め相模原市全体の街づくりにおける今後の協力について包括連携協定を締結
2. 相模大野中央公園へのカフェ設置や、公園内のトイレ改修などによる地域貢献の取り組みを実施
3. J:COM やタリーズコーヒージャパンとエリアマネジメント運営組織を設立し、マンション低層部の広場や相模大野中央公園におけるイベント実施などにより、街の魅力向上に寄与

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役：新井聡、以下「野村不動産HD」）と野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役：松尾大作、以下「野村不動産」）はこの度、新築分譲マンション「プラウドタワー相模大野クロス」（神奈川県相模原市、以下「本物件」）が位置する相模大野エリアにおいて、相模原市などと協力の上実施する「地域共創型」街づくりの概要についてお知らせいたします。

今般、野村不動産 HD・野村不動産は相模原市と3者間で包括連携協定を締結しました。これにより相模大野エリアを含む相模原市全体の街づくりにおいて今後協力していく予定です。それに先立ち、地域貢献の取り組みの一環として、相模大野中央公園へのカフェの設置や公園トイレの改修を行います。また JCOM 株式会社（以下「J:COM」）やタリーズコーヒージャパン株式会社（以下「タリーズコーヒー」）と共に設立するエリアマネジメント運営組織により、本物件低層部ににぎわい広場（仮称）における大型デジタルサイネージを活用した賑わいの創出や、イベントの実施も検討しております。今後も野村不動産グループは、相模原市の南の玄関口である相模大野駅周辺に新たな街の魅力創出へ向けた活動へ取り組んでまいります。



【包括連携協定締結式及び寄附金受領式の様子（2024年11月5日）】

(左)野村不動産 HD 代表取締役副社長 兼 野村不動産代表取締役社長:松尾大作、(右)相模原市長:本村賢太郎 氏

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

1. 相模原市との連携について

野村不動産グループは相模原市とともに、今後も相模原市全体の活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び市民サービスのより一層の向上に向けて、連携・協力した取り組みを行ってまいります。

(1) 包括連携協定の締結

相模原市と野村不動産 HD・野村不動産との間で今後の地域経済の活性化・防災・スポーツ・街づくりなどの事項について相模原市と連携して取り組んでいくことに合意し、包括連携協定を締結いたしました。

(2) 寄附の実施

野村不動産から相模原市に対し、相模大野駅周辺のまちづくりに関する事業への活用を目的として「暮らし潤いさがみはら寄附金制度」を利用して寄附を行い、2024年11月5日には、包括連携協定締結式及び寄附金受領式が実施されました。

(3) 相模大野中央公園へのカフェ設置と公園トイレの改修

野村不動産は本物件の近くに位置する相模大野中央公園において、タリーズコーヒーと協力して、カフェを設置いたします。このカフェは、広域的な帰宅困難者対策への取り組みの一つとして、「災害時帰宅支援ステーション」としての役割を果たします。

また相模原市は、相模大野中央公園のベンチの増設や水景施設の改修などを行う予定であり、野村不動産も公園のトイレを、子育て世代でも使いやすいトイレへ改修を行い、公園の魅力向上へ貢献してまいります。



【カフェのイメージと「災害時帰宅支援ステーション」のステッカー】

2. 3社で連携したエリアマネジメント活動の実施と賑わいの軸の形成

野村不動産と J:COM、タリーズコーヒーの 3 社で、エリアマネジメントの取り組みを行います。本物件の低層部に位置するにぎわい広場（仮称）や相模大野中央公園におけるイベントなどの実施を検討しており、地域企業へも活動の輪を広げていく予定です。これらの活動に加え、野村不動産が所有する商業施設「ポーノ相模大野」も含めた相模大野駅周辺から本物件、さらには相模大野中央公園まで連続した賑わいの軸を形成することを目標としております。

また本物件の敷地内には、24 時間開放の公共広場と、相模大野中央公園までつながる公共歩廊が新設され、広場の周辺には、スーパーマーケットや保育園をはじめとした、約 10 テナント^{※1}の商業施設・地域貢献施設が入居予定です。それらを活用し、主に以下のような取り組みを行うことで、回遊性向上や賑わい創出に取り組んでまいります。

- J:COM と連携し、広場内に設置される約 350 インチの大型デジタルサイネージでは、J:COM のコミュニティチャンネルと連携した、地域ニュースや防災情報、スポーツ放映など^{※2}を計画。
- 本物件に隣接する市営駐車場と広場との間を接続し、歩行者や車が通り抜け可能となる施策を検討中。イベント時にはキッチンカー等を広場へ誘致してのイベント開催も予定。

※1: テナント数は今後変更になる可能性があります。

※2: 現段階の想定で、今後内容が変更になる可能性があります。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE



【相模大野駅から相模大野中央公園にかけてのにぎわいの軸のイメージ】



【にぎわい広場（仮称）におけるエリアマネジメント活動のイメージ】

3. プラウドタワー相模大野クロスにおける取り組み

現在野村不動産は、相模大野駅から徒歩 4 分の地において、小田急線沿線最高層^{※3}のタワーマンションである「プラウドタワー相模大野クロス」を販売しております。相模大野エリアにお住まいいただく本物件の住民の方に豊かな暮らしをお届けするため、本物件においてはエレベーターと連携した上下移動可能なお掃除ロボットを活用した協業や、防災レジリエンスおよび環境に配慮された設備仕様も多く導入されており、ご契約者様からも高く評価をいただいております。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE



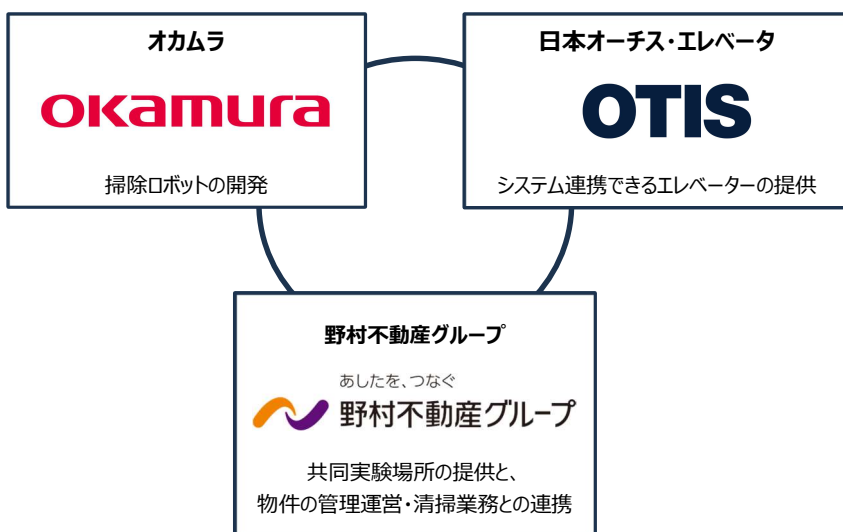
【本物件の外観 CG パース】

※3: 「沿線最高層」は 1995 年以降、小田急小田原線・江ノ島線沿線で供給された新規物件のうち、40 階以上の物件は本件のみとなります。
(対象期間: 発売が 1995 年 1 月～2024 年 4 月 15 日までの MRC 調査・捕捉に基づく分譲マンションデータの範囲内データ資料: MRC-2024 年 5 月号 作成 2024.5.30 (有)エム・アール・シー)

(1) プラウド初、エレベーター連携可能な掃除ロボット導入と、オカムラ、日本オーチス・エレベータとの協業

エレベーターと連携し、上下階移動可能な掃除ロボットの導入に向け、野村不動産グループ各社（野村不動産・野村不動産パートナーズ・野村不動産アメニティサービス）が、株式会社オカムラ、日本オーチス・エレベータ株式会社と共同で、Otis Integrated Dispatch™（オーチス・インテグレートッド・ディスパッチ）システムを活用し、「プラウドタワー相模大野クロス」の共用部において実証実験を進めております。

ロボットは、ロボット管理システムを介して自らエレベーターに乗り降りし、各フロアの共用内廊下の掃除を行い、定位置に戻ってきます。また、将来的には複数台ロボットによる同時運用や、掃除ロボットの導入による、清掃サービスの品質向上、業務効率化及び清掃員の省人化を図る予定です。



【野村不動産グループ× オカムラ × 日本オーチス・エレベータの実証実験の関わり方と、掃除ロボットのイメージ※4】

※4: 実際に導入される予定の機種とは異なる可能性がございます。

PRESS RELEASE

(2)環境配慮の取り組みとご契約者様からの評価

本物件は以下のような環境配慮の取り組みを多数導入しており、またそれらの取り組みが、ご契約者様へのアンケートにおいても高いご評価をいただいております。今後も野村不動産はこのような取り組みを通じて、環境にやさしいだけでなく、お客様へのメリットや満足度も両立した住まいづくりに寄与してまいります。

取り組み	概要	ご契約者様からの満足度※5
ZEH-M	本物件は経済産業省による「超高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）実証事業」に採択されております。外皮の断熱性能を大幅に高め、エネファーム※6等の高効率設備の導入により、快適な室内環境を保ちつつ、大幅な省エネ（省エネ基準比 20%以上削減）を実現したマンションです。	87.28%
低炭素認定住宅	生活の中で発生する二酸化炭素抑制のため認定に基づき、高断熱の仕様や節水機器などの採用を行い、省エネ性が高く人と環境、そして家計にやさしい住空間を実現します。	85.45%
CO ₂ 排出量 実質ゼロマンション	電気・ガスともに東京ガスが供給するエネルギーを導入し、専有部にはカーボンオフセット都市ガス（地球環境貢献型）※7と、実質再生可能エネルギー100%の電気料金プラン「さすてな電気※8」を採用します。共用部には相模原市内の卒 FIT 太陽光由来の環境価値等を一部含んだ実質再生可能エネルギー100%の電気使用により、CO ₂ 排出量実質ゼロ※9を目指します。	85.46%
駐車場全 207 区画 EV 充電対応	本物件は伊勢丹相模原店の既存躯体を活かし、敷地内駐車場の全区画（207 台）を平置き駐車場とし、国内初※10、東京ガスが提供する EV 充電サービス「EVrest（イーブイレスト）」を全区画に完備することが可能となっております。	74.55%

<参考資料>

- ・2023 年 9 月 15 日：[小田急線沿線エリア最高層の分譲マンション「プラウドタワー相模大野クロス」発表](#)
- ・2024 年 2 月 16 日：[野村不動産初、分譲マンション販売において物件単体でのメタバス空間導入](#)

※5：2024 年 4 月～8 月の間に、物件の評価項目と評価内容の調査を目的として案内会来場者を対象に実施したアンケートから、契約者の回答を抽出。

※6：省エネ・省 CO₂ といった環境性に加え、電力のピークカットにも貢献する高効率なコージェネレーション（熱電併給）システム。

※7：天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO₂クレジットで相殺（カーボン・オフセット）することで、燃焼しても地球規模では CO₂が発生しないとみなされる都市ガス

※8：再生可能エネルギー由来の非化石証書の持つ環境価値を付加した電気料金メニューで、東京ガスの電源（LNG 火力等）に再エネ指定の非化石証書を付加することにより、実質的に再生可能エネルギー100%かつ CO₂排出量ゼロとしてみなされるもの。

※9：CO₂ 排出量実質ゼロとは、非化石証書が付与される環境価値を有した電力の供給と、カーボンニュートラル都市ガスの供給によるものです。電力に関して、再エネ指定の非化石証書の使用により、CO₂ 排出量が実質ゼロになることを意味します。非化石証書市場の状況によっては、CO₂ 排出量実質ゼロにならない場合がございます。ガスに関して、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出された CO₂ クレジットで相殺すること（カーボン・オフセット）により、CO₂ 排出量が実質ゼロになることを意味します。個別契約となりますので契約条件等によっては、「CO₂ 排出量実質ゼロ」の内容は変更になる可能性がございます。

※10：東京ガスの EVrest を新築分譲マンションにおいて自走式駐車場含む全区画に導入するのは国内初。（東京ガス株式会社調べ）

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

(3)物件概要 (記載の内容は2024年11月時点のものです。最新情報は公式HPをご覧ください。)

所在地	神奈川県相模原市南区相模大野四丁目 4009 番 45 (地番)
交通情報	小田急電鉄小田原線「相模大野」駅 徒歩 4 分 小田急電鉄江ノ島線「相模大野」駅 徒歩 4 分
構造・規模	鉄筋コンクリート (一部鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造) 地上 41 階 地下 3 階建て
敷地面積	10,186.49 m ²
戸数	687 戸
間取り	1LDK~4LDK
専有面積	32.66 m ² ~125.48 m ²
竣工時期	2025 年 11 月上旬 (予定)
入居開始時期	2026 年 1 月下旬 (予定)
売主	野村不動産株式会社
施工	三井住友建設株式会社 横浜支店
公式HP	https://www.proud-web.jp/mansion/f116160/











【本物件に関するお客様向け問い合わせ窓口】

プラウドタワー相模大野クロス マンションギャラリー

営業時間：平日 11:00~18:00、土日祝 10:00~18:00 / 定休日：毎週火・水・木曜日

TEL：0120-687-152 / 公式HP：<https://www.proud-web.jp/mansion/f116160/>

【参考：野村不動産グループのマテリアリティとSDGsについて】

野村不動産グループ マテリアリティ					
 DECARBONIZATION 脱炭素	 BIODIVERSITY 生物多様性	 CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン	 DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	 HUMAN RIGHTS 人権	
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)			
 DECARBONIZATION 脱炭素	不動産デベロッパーとして、まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取り組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 11 住み続けられる まちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任	 13 気候変動に 具体的な対策を

野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連のSDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組みの詳細はHPをご確認ください。 URL：<https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

あしたを、つなぐ